

用 語	解 説
フレーム	諸機能が同じで、同じ寸法のブレーカを総称する場合、最大の定格電流の値をもって呼ぶ容器の大きさです。また、アンペアフレーム (AF) とも呼称します。
極数・素子数	主回路で、電氣的に絶縁された開閉接触部をもつ一つの電路を極と言い、その数を極数 (P) といいます。また、過電流引外し装置の数を素子数 (E) といいます。ブレーカは一般的に各極に過電流引外し素子を持ちますが、単相3線式回路の中性極は過電流引外し素子がないのが一般的です。例外として住宅分電盤用漏電ブレーカGNIには過電流引外し素子がありません。(OCなし)
OC付・OCなし	OCとは過電流引外し装置のことで、過負荷電流または短絡電流に対して引外し動作を行います。一般的にブレーカはOC付で、住宅分電盤用漏電ブレーカGNのみOCなしです。
定格電流 (In)	規定の温度上昇限度を越えることなく連続して通電できる電流です。
定格使用電圧 (Ue)	開閉性能・遮断性能・耐電圧性能の基準となる電圧です。 サーキットブレーカの場合：定格使用電圧以下でご使用ください。 漏電ブレーカの場合：指定の適用電路電圧例でご使用ください参照。(詳細は77頁参照)
定格感度電流	漏電ブレーカ2次側の地絡電流によって、必ず引外し動作をする電流値です。 定格感度電流には、下記の種類があります。(詳細は76頁参照) 高感度形 (30mA以下)、中感度形 (30mAを超え1A以下)、低感度形 (1Aを超え20A以下)
定格不動作電流	漏電ブレーカの2次側に地絡電流が流れても引外し動作をしない電流値です。
漏電引外し動作時間	定格感度電流以上の地絡電流が流れたときから、漏電ブレーカが遮断するまでの時間です。 動作時間には、下記の種類があります。(詳細は76頁参照) 高速形 (0.1秒以内)、時延形 (0.1秒を超え2秒以内)、反限時形
定格動作過電圧	単3中性線欠相保護付漏電ブレーカの場合、電圧極と中性極との間に過電圧を印加したとき、ブレーカが必ず引外し動作をする電圧です。
定格過電圧動作時間	定格動作過電圧以上の電圧を印加してから、単3中性線欠相保護付漏電ブレーカが遮断するまでの時間です。
定格遮断容量	規定の条件の下で遮断できる電流の限度をいいます。交流の場合は規約短絡電流 (固有電流) の短絡発生後1/2サイクルにおける対称分実効値をいいます。
定格短時間電流	規定の回路条件の下で、規定の時間、ブレーカに通電しても異常を認められない電流値です。
短時間定格	通電時間が短いために装置が熱平衡に至らず、休止時間が通電部分の冷却に十分な時間のある使用に用いられる装置において、装置の定格使用電圧または定格電流を所定の時間印加したとき、各部の温度上昇値が規定された値を超えない定格です。
過電流引外し方式	ブレーカに過電流が流れたとき、開閉機構を釈放しブレーカを解放する自動引外し動作の方式です。 過電流引外し方式には下記の種類があります。(詳細は52頁参照) 熱動式、熱動一電磁式、完全電磁式、電子式
端子構造	ブレーカと電線または銅バーとの接続部をいいます。 表面形には下記の種類があります。(詳細は80頁参照) ソルダーレス端子 (JIS互換性形)、線押え端子 (~60AF)、圧着端子用 (~250AF)、バー端子用 (400AF~)、連結端子、プラグイン端子構造は一次側 (電源側) がプラグ端子によりワンタッチで銅バーへの接続が可能です。(詳細は12頁参照)
過電流	ブレーカの定格電流を超える電流で、過負荷電流と短絡電流の総称です。
過負荷	負荷 (電気装置) の使い過ぎにより、過電流が流れるような状態です。
短絡電流	故障または誤接続による回路の短絡 (ショート) によって生じる過電流です。電位差が等しくなります。
地絡	電路と大地間の絶縁がアークまたは導電性物質によって橋絡されたため、電路または機器の外部に危険な電圧が現れたり、電流が流れる状態をいいます。特に、人畜を通じて流れた場合を感電といいます。
アークスペース	短絡遮断時のブレーカの排出ガスによる二次的波及事故を避けるために必要な絶縁のための空間です。(詳細は85頁参照)
長限時引外し (時延引外し)	過電流が流れると、電流が増加するにつれ動作時間が短くなる過電流引外し動作をいいます。
瞬時引外し	短絡電流などの比較的過大な過電流が流れた場合に、瞬間的にブレーカを引外す過電流引外し動作をいいます。
開閉器	通電中の電路を開閉することができるスイッチです。なお、過電流引外し素子がないため、過電流や短絡電流の遮断ができません。
断路器	負荷電流が流れていない状態で、電路を開閉するスイッチです。
電灯分電盤用協約形配線用ブレーカ	JIS C 8201-2-1附属書JC電灯分電盤用協約形回路遮断器に示す協約寸法をもつ、電灯分電盤の分岐回路用のブレーカです。
JIS互換性形漏電ブレーカ	定格電流が30A以下の端子接続式のもので、取付けおよび取替上の互換性をもたせた漏電ブレーカです。
導電部	電流を流すための電路部分です。電気を導通させる機能がある部分です。
充電部	電路に電圧を印加した場合、直接帯電する部分をいいます。
絶縁距離	互いに絶縁すべき部分の相互間の距離をいい、空間距離および沿面距離からなります。
連続定格	装置の定格使用電圧または、定格電流を温度上昇が一定となるまで連続して印加した場合、各部の温度上昇値が規定された値を超えない定格をいいます。